

ブラザーグループのCSR

内部統制

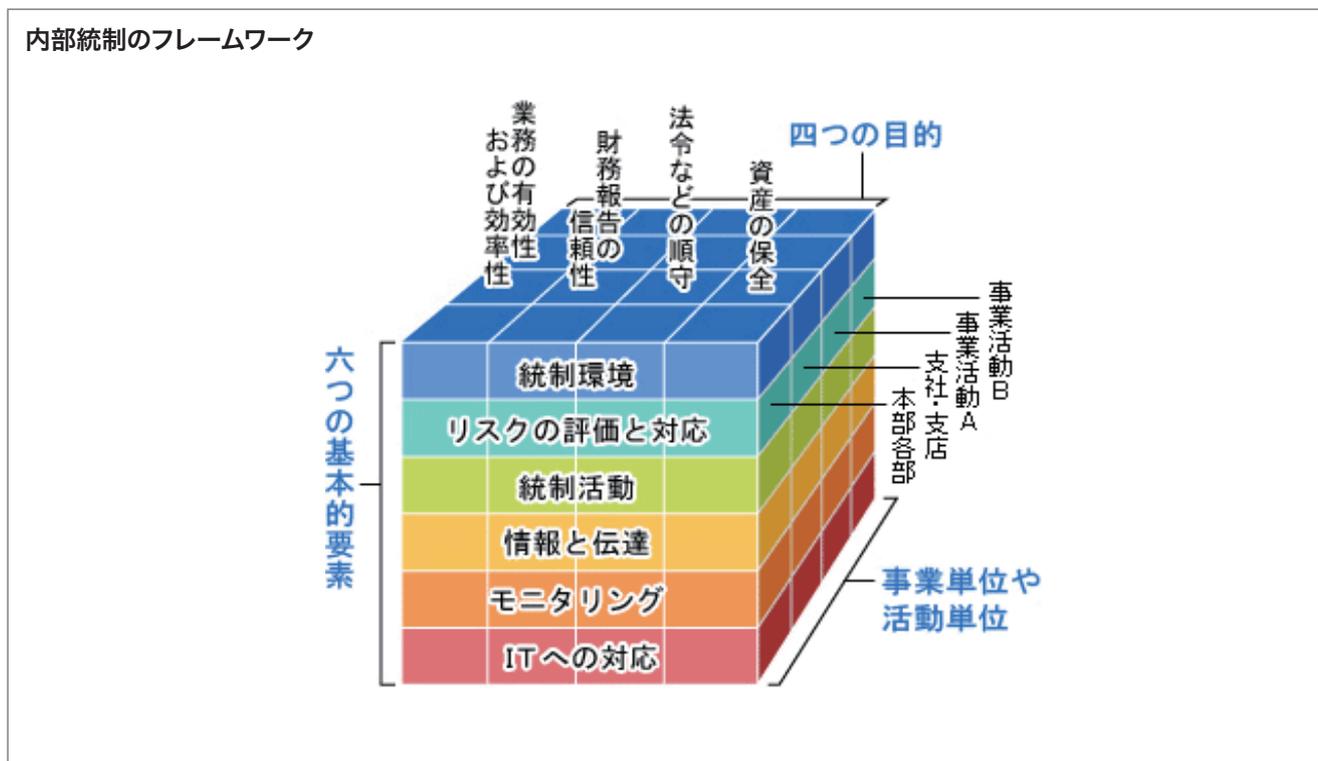
体制の整備と継続的なレベルアップ

財務報告の透明性と信頼性を確保するために

2006年5月の新会社法施行や、2009年3月期からの内部統制報告書提出義務化など、社会は企業の財務報告にますますの透明性・信頼性を求めています。ブラザーグループは、これを業務の効率化、リスク対応力の強化、グループ経営の推進、ひいては企業価値の向上を図る好機ととらえ、体制の整備を進めました。

そしてブラザーグループ各社は、毎年、内部統制が有効に機能しているかどうかをチェックリストなどで自己点検し、さらに内部監査部門が、独立的な観点からの監査を実施することで、継続的な内部統制の向上を図っています。また、M&Aなどの変化に対応しつつ、内部統制の目的や重要性、グループの活動状況などを共有するためのホームページをイントラネットに開設したり、各種研修を通じて理解をさらに深めてもらうなどの積極的な啓発活動も行っています。

これからも、経営を支える重要なインフラのひとつである内部統制の維持・向上を図ることで、社会からの要請である「財務報告の透明性と信頼性」の確保に努め、多くのステークホルダーから継続して高い信頼をいただけるよう努めていきます。



ブラザーグループのCSR

内部統制

地域統括会社と連携し内部監査を実施

内部統制のPDCAサイクル確立・向上を目指して

ブラザーグループは、2015年度に、海外18社・国内4社のグループ会社で内部監査を実施しました。これは、内部統制に係るPDCAサイクルをより確かなものとし、業務のさらなる透明化・効率化、リスク対応力の強化を図るためです。

ブラザーグループの監査は、ブラザー工業と米州・欧州・亜州の地域統括会社などの内部監査部門が密に連携して実施し、より現地の実態に則した監査を行っています。さらに、ますますグローバルで重要となる内部監査機能の強化を図ることを目的として、2010年から数えて7回目となる「グローバル内部監査会議」を開催し、地域統括会社やブラザー工業内部監査部・財務部・IT戦略推進部から総勢20名ほどが参加しました。

今後は、新中期戦略「CS B2018」の達成に向けて、(1)グループとして、より適切な内部統制システムの構築、(2)現場部門の内部統制に係るPDCAサイクルの自立化推進、(3)グループ内の各監査機能部門の連携・情報共有による監査の効率化を目標に、M&Aなどの変化に対応しつつ、ブラザーグループ全体の内部統制機能の維持向上を図ります。



グローバル内部監査会議